

〔平成21年8月28日（金）〕

美しい森林づくりニュース 〈N0. 145〉

～ 伝えたい木の文化、残したい美しい森 ～



発信元：林野庁 研究・保全課 森林環境保全班 企画調整係 山口
Tel：03-3502-8111（内線6216） 03-3501-3845（直通） Fax：03-3502-2887

ご意見、ご質問は → <https://www.contact.maff.go.jp/rinya/form/5dd6.html>

バックナンバーは → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html>

◎ 高尾山の国有林を走って、遊んで、学んで森林に親しもう！

－「第13回高尾山森林走遊学大会」の開催－

秋の高尾山（東京都八王子市）を走り、森林で遊び、学ぶなど様々な形で森林に親しもうという「高尾山森林走遊学大会」が、**9月27日（日）**に開催されます。

この大会は、森林で汗を流し、学び、遊ぶなど様々な形で森林に親しむ活動を体験することで、森林・林業の大切さを認識することを目的としています。併せて、森林を守り育てる「緑の募金」及び高尾山の森林整備への参加を呼びかけ、市民による森林・みどりづくり活動を展開することも目的としています。



大会参加者の方々には参加費の一部を「緑の募金」として寄附するチャリティー大会として認識されており、平成9年から毎年開催され今年で第13回を迎えます。

大会では、健脚を競う「さわやか森林マラソン」だけでなく、「さわやか森林トレッキング」や「さわやか森林ノルディックウォーキング」、森林インストラクターによる「さわやか森林観察」、炭焼きを体験できる「さわやか炭焼き体験」の5つのメニューが用意されており、家族で楽しんでいただける種目もあり、昨年は約1,500名の参加がありました。



参加申込みの締切は**9月10日（木）**までとなっていますので、皆様も是非ご参加ください。

※会場 東京都八王子市高尾山・周辺国有林ほか
（最寄り駅 京王線高尾山口駅）

※お問い合わせ 〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-12
高尾山森林マラソン実行委員会

Tel:03-5684-8113 Fax:03-5684-8110 E-mail takaosan@multis.co.jp

◎ 将来の野球選手へ ～プロ野球選手がバットの森づくり～

7月23日(木)、胆振東部森林管理署苫小牧国有林において、アオダモ資源育成の会主催の“バットの森づくり植樹祭”が開催されました。アオダモ資源育成の会は、野球のバットとなるアオダモが減少することに対応するべく、北海道森林管理局のほか(社)日本プロ野球選手会や(財)日本学生野球協会など多数の関係団体・機関が参画して結成されました。今年は同会の創立10周年ということで、



あこがれの選手と記念撮影

高校・大学の野球チームの他、翌24日に開催された札幌ドームでのオールスターゲーム出場のために来道していたプロ野球選手も参加しました。千葉ロッテマリーンズの井口選手、里崎選手、サブロー選手、中日ドラゴンズの荒木選手、井端選手、広島東洋カープの栗原選手、石原選手、東出選手、赤松選手の9名の方々です。

ちなみに、アオダモは緻密・強靱な材質を持ち、特に北海道産のアオダモが最も優れたバットの材料になるとして注目されていますが、天然木が激減しており、資源維持のために造林技術の早急な確立が必要と言われている樹種です。

まず、記念事業として、平成19年に苫小牧市で開催された全国植樹祭において、天皇皇后両陛下がお手播きされたアオダモをホームベースにかたどって植え、その後、周囲に参加者全員の手で、200本のアオダモ苗を植樹しました。

荒木選手と一緒に植林作業 →



プロ野球選手たちは、写真撮影やサイン、取材の求めに応じながら大忙しの植樹祭となりましたが、地元胆振東部森林管理署職員の指導どおりに一本一本思いを込めて作業されていました。一方の高校生たちは、植樹に取り掛かる頃は憧れのプロ野球選手を前に緊張した面持ちでしたが、植樹穴に向かい合い一緒になって土をかぶせたりするうちに、自然に笑顔が見られるようになりました。「憧れの選手に会えて幸せ。」「植樹作業は初めてだったが、大変楽しかった。」といった感想も聞かれました。



アオダモは、成木になるまでに60～70年もの年月がかかります。将来の野球選手たちの活躍を祈りながらの、参加者一同大満足そして大変有意義な

← 標柱立てを終えて記念撮影 植樹祭となりました。

◎ 「教職員を対象とした森林・林業体験学習研修会」を開催

中部森林管理局内の4つの森林管理署と長野県との共催により、8月4日に北信地域及び木曽地域、5日に上伊那地域、6日に東信・松本地域で、長野県内の地域の小中学校等の教職員の方々を対象とした森林・林業体験学習研修会が、各地域の国有林を主なフィールドとして開催されました。

この研修会は、森林環境教育の手法等についての研修を通じ、森林・林業の役割や森林環境教育の重要性についての認識を高めるとともに、森林環境教育が学校教育の中に積極的に取り入れられるよう促すことを目的としたものです。

木曽地域では、温帯系と暖帯系の植物が混生して生育している植物の観察、国宝や重要文化財等歴史的建造物の屋根葺きの材料として使われる檜皮について、北信及び東信・松本地域では、戸隠高原や美ヶ原高原の高山に生育する動植物の観察を、また上伊那地域では、直角二等辺三角形を利用した樹高測定や、木の炭素量調査等、各会場ともフィールドの特色を生かし、趣向を凝らした研修を行ないました。先生方は大粒の汗を流しながら、のこぎりを使った間伐等の伐採作業を体験し、作業の大変さと同時に、森林を守り育てることの大切さを改めて実感している様子でした。



体験学習研修会をNHKが取材（東信・松本地域）



植物観察の様子（木曽地域）

近年、小中学校の多くが総合学習等の授業を活用し、地球温暖化などの環境問題や、森林・自然の働きや大切さについての学習を行っています。参加者の中には環境教育や地域・学校で組織されている緑の少年団担当の先生方もいらっしゃり、多くの方が「森林体験学習の企画にあたり参考・ヒントに」、「森林環境教育の進め方や準備の仕方を学びたい」、「伐採体験の手法を学び、学校で実践してみたい」などしっかりと目的意識をもって研修に臨んでいました。

また、先生方は、管内の森林管理署等が取り組んでいる出前授業の森林教室に大変興味をもたれ「積極的に授業に取り入れてみたい」、「出前授業をもっとPRして頂き、児童・生徒に山のプロである職員の皆さんの、生の声で森林の話をしてほしい」等の声も聞かれました。

◎ “美しい森林（もり）をつくろう！”

ー テレビ番組『**中西哲生**の**Just Japan**(ジャスト・ジャパン)』の放送ー
元サッカー選手でスポーツジャーナリストの中西哲生さんが、日本を取り巻く様々な問題を分かりやすく分析する番組です。

今回の放送では、山村再生支援センター事務局長の竹田純一さんをゲストに招き、「京都モデルフォレスト運動」や「美しい森林づくり全国推進会議」の構成団体である京都銀行の取組紹介、あわせてフォレスト・サポーターズ（森のための4つのアクション）が紹介されます。放送日は8月29日(土)～9月5日(土)で、次の13局において放送されます。是非、ご覧下さい。

首都圏・近畿圏・中部圏 独立UHF13局にて放送

・神奈川：テレビ神奈川	29日(土)22:00～22:30	・群馬：群馬テレビ	30日(日) 8:30～ 9:00
・栃木：とちぎテレビ	30日(日) 9:30～10:00	・埼玉：テレ玉	30日(日) 8:30～ 9:00
・東京：TOKYO MX	5日(土) 7:30～ 8:00	・千葉：チバテレビ	29日(土) 8:00～ 8:30
・岐阜：ぎふチャン	29日(土) 9:00～ 9:30	・三重：三重テレビ	29日(土)10:30～11:00
・滋賀：びわ湖放送	30日(日)11:30～12:00	・京都：KBS京都	29日(土) 9:00～ 9:30
・兵庫：サンテレビ	1日(火) 8:00～ 8:30	・奈良：奈良テレビ	29日(土) 7:55～ 8:25
・和歌山：テレビ和歌山	29日(土) 9:00～ 9:30		

番組概要についてはこちらから

→ <http://www.tvk-yokohama.com/justjapan/index.html>

※ 「美しい森林づくりニュース」のメールマガジンの配信を始めています。

登録はこちらから → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/mail.html>